

平成 27 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 28 年 4 月 10 日

研究・研修課題名	体外循環技術認定士取得のためのセミナー参加 (JaSECT第11回1年次教育セミナー)・実技セミナー
研究・研修組織名(所属)	体外循環技術取得研修(MEセンター)
研究・研修責任者名(所属)	藤本欣史(MEセンター)
共同研究・研修者名(所属)	明穂一広(MEセンター) 梅田宏幸(MEセンター) 井本康太(MEセンター) 中田早人(MEセンター)

目的及び方法、成果の内容

①目的

日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本人工臓器学会・日本体外循環技術医学会では「医師の指示のもとで行う人工心肺等の体外循環装置を操作するための技術を有する能力」を評価する目的で体外循環技術認定士制度を設置している。今回は体外循環技術認定士取得を目的にしている。

②方法

第 41 回日本体外循環技術医学会大会併設の実技セミナーに参加する

日時：2015 年 10 月 17 日(土) 18 日(日)

場所：神戸国際会議場

日本体外循環技術医学会(JaSECT 第 11 回 1 年次教育セミナー)に参加する

日時：2015 年 11 月 7 日(土)

場所：岡山コンベンションセンター(岡山)

③成果

現在、日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本人工臓器学会・日本体外循環技術医学会では、心臓血管外科基幹病院認定機関の条件が「体外循環技術認定士 1 名以上」となっており、当院では現在 1 名が該当している。ここ数年、小児心臓血管外科の新設に伴い、体外循環の症例数が増加しており、体外循環認定士を増やし、より安全な体外循環の施行を目指す必要がある。

体外循環技術認定士の受験資格には、日本体外循環技術医学会教育セミナーを 1 年次・2 年次・3 年次と 3 回受講しなければならない。加えて、実技セミナーの受講も必須である。今回、日本体外循環技術医学会主催する教育セミナーに 2 名が参加し、日本体外循環技術医学会の実技セミナーには 4 人が参加した。

日本体外循環技術医学会教育セミナーでは、

- 1.基礎医学：心臓と肺の機能と先天性異常(診断と治療)
- 2.基礎工学：モーター・センサー・制御装置
- 3.体外循環の基礎：人工肺と血液ポンプ
- 4.循環器疾患の診断と治療法：心臓カテーテル検査とインターベーション・不整脈治療

- 5.体外循環の病態生理：体外循環に伴う合併症と体外循環トラブルに起因する合併症
 - 6.患者管理：救命救急と集中治療
 - 7.体外循環の実際：小児の体外循環法
 - 8.体外循環の安全管理：安全工学とリスクマネジメント
 - 9.補助循環：心拍動下の循環補助法
- 以上の体外循環に関する基礎知識を習得する事ができた。

実技セミナーでは、人工心肺中に起こりえるトラブルや対処法を人工心肺装置を実際に操作しながら学ぶ事ができた。

今回の研修制度を利用し受講した事により、今年度は体外循環認定技士受験資格を2名が習得し、2名とも合格する事ができた。また、3年後には、今回セミナーを初受講した2名が受験資格を取得する予定であり、計画的な認定技士取得が行えるようになっている。

* 4 学会合同 体外循環技術認定士認定委員会
体外循環技術認定士 認定証 受領済 【2015年10月26日】

* 4 学会 1 研究会合同 人工心臓管理技術認定士認定委員会
人工心臓管理技術認定士（小児体外式） 認定証 受領済 【2015年11月19日】

* 4 学会合同 体外循環技術認定士認定委員会
体外循環技術認定士 認定証 受領済 【2015年11月19日】